

# 掌に秋田を。“天然木のボールペン”

有限会社 中野木工(中野挽物製作所)

〒012-0004 秋田県湯沢市二井田字掬ノ上34-2  
TEL 0183-72-0250 FAX 0183-72-0251 / <http://chuokai-akita.or.jp/kinokagu/nakano-mokko/>



「手に取って  
秋田のぬくもりを  
感じてほしい」  
と中野さん

## ひとつひとつ手作業で削りだす メイドインAKITAのぬくもり



### ひきもの 挽物の技術を活かした逸品

木材をろくろや旋盤で挽き、円形の器物をつくる技術、挽物。ひとつひとつの工程の全てが職人の腕に託された無垢材のまろみが魅力の工芸品に、湯沢市から一風変わった小物が加わった。有限会社 中野木工(中野挽物製作所)の中野徳之さんが生み出した“天然木のボールペン”だ。

「受注する製品の9割が特注家具や店舗什器ですが、そのほとんどが大型家具。父から学んだ挽物技術で、1から10まで自分だけで製作可能な新商品を作れないかと考えました」。

何よりも木工品に携わる者として、“木”をもっと身近に感じて欲しいという願いがあった。センターのデザイン相談を活用しながら商品開発に乗り出したのが6、7年前。秋田杉やイタヤカエデ等、それぞれの木の特徴を活かしたペン軸にするため、太さや書きやすさにこだわった。

「使用した人の意見も聞きながら、数えきれないくらい試作品を作りましたね。特に秋田杉は柔らかく、薄さと強度のバランス調整には苦労しました」。

口金部も地元企業の協力を得て制作し、芯以外はメイドインAKITAを実現。1本ずつ丁寧に削り出し、細部まで突き詰めた機能的で美しいデザインは、日本ギフト大賞2016秋田賞やウッドデザイン賞2017を受賞した。

### ブランドの確立と更なる付加価値を

販売は湯沢市内の文房具店やインターネットでの注文が中心だが、展示販売会等での評価も上々。今後は、ブランドの確立と付加価値を高めるために県産材の種類を増やすなど更なる商品自体のブラッシュアップとパッケージの改良にも取り組んでいく予定だ。

「開発当初は北東北の木材を使用していましたが、相談していくうちに原材料も秋田県材へシフトしました。秋田には杉だけでなく広葉樹もたくさんあります。もちろん多くの人に手に取ってもらえたらと思います。特に秋田に縁があり、今は県外に出られた方などに持っていただき、少しでも秋田を身近に感じて貰えれば嬉しいです」。



手造りの製品は全て一点もので一生もの。  
中野さんが持つのは人気商品の「ちいさないす」と「昔ながらの椅子」。(写真左)

事業概要

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

知財・デザイン支援課  
TEL.018-860-5614